



教わりながら野菜の苗を植え付ける園児ら

遊休農地活用の農園で 園児が農作業を楽しむ

葛巻保育園（村上明彦園長・園児87人）は6月6日、町農業委員会（鈴木努会長・委員15人）の協力により田の沢地区の遊休農地を活用した「あとつぎ隊農園」に野菜の苗植えや種をまきました。

3～5歳児とその祖父母や、浦子内老人クラブの方々、町農業委員など約100人が参加。コメリ葛巻店から提供を受けたトマト、ピーマン、カボチャなど10種類の苗や種をおじいちゃん、おばあちゃんから教わりながら畑に植え付けました。すっきりとした青空の下、園児らは「大きくなつてね」と願いを込めながら笑顔で作業を楽しみました。



参加者に熱い思いを伝える志村さん

一人一人がキラめいて 魅力発見セミナー開催

葛巻町農業後継者等パートナー事業協議会（鈴木努会長）は6月24日、花巻市の劇団「ぜんとうようくらぶ」代表の志村尚一さんを講師に「自分の魅力発見セミナー」をグリーンテージで開催しました。

町農業委員やお節介さん（結婚相談員）、一般町民など40人が参加。志村さんは全国各地で農業や福祉問題、地域活性化などに関わり「結婚は本人ではなく、地域の問題。一人一人がキラめき、持ち味を生かした地域づくりが大切」と、時折芝居を交えた話に会場は笑いに包まれました。このセミナーは全4回予定され、次回は7月5日（火）です。

たくすく 千葉佑先生をお迎えし 小屋瀬小で音楽の授業

小屋瀬小学校（菊池育子校長・児童33人）では6月10日、星槎大学非常勤講師で一関市出身の千葉佑先生をお迎えし、音楽の特別授業が行われました。

同校体育館で全校児童対象に行われた授業で、「校歌の歌詞は、ちょっと難しいけれど、大人になってから同級会で必ず歌う。だからしっかり歌えるようになろう」と千葉先生。子どもたちを笑いの渦に引き込みながら、エネルギッシュに指導、大きな声で歌えるようになりました。

元村弥佑さん（4年）は、「とっても楽しかったです。もっと一緒に歌いたかったな」と笑顔で話しました。



千葉佑先生④のエネルギッシュな指導に引き込まれていく子どもたち

待っていたよ「モコ」 江刈小で羊を迎える会

江刈小学校（湯原尚子校長・児童32人）は6月9日、「羊を迎える会」を行いました。今年秋まで、町畜産開発公社から預かることになった羊（サフォーク種）に「モコ」と子どもたちが命名し、おとし同校で過ごした「さくら」と2頭が来校しました。

昨年は口蹄疫の関係で羊のお世話ができず、待ちに待っていた大川原芽生さん（同校2年）は迎える会で「みんなで大切に育てます。よろしく願います」と「モコ」を大歓迎。毛刈り体験のためやってきた「さくら」の毛を子どもたちみんなで刈りあげ、ふれあいました。



毛を刈りすっきりした「さくら」をなでる児童



藤岡さん（中央）の昔話に聞き入る参加者ら

葛巻の昔話をかたる会 懐かしい遊びも楽しむ

昔話や方言、懐かしい遊びを通して、みんなで楽しみながら葛巻の昔を伝えていこうと6月12日、くすまきかたる会（藤岡一雄代表、会員17人）は、下町の郷土資料館で「むかしかたり」を開催しました。

語り手の藤岡一雄さんは、キツネにまつわる伝説や山の神様は女性という言い伝えがあるなど、葛巻の昔話をかたりました。参加者は、懐かしい遊び「福笑い」や「コマ」を回したり、手作りのシソジュース、お菓子を食べながら、楽しい時間を過ごしました。開催日は偶数月に1回で、次回は8月21日（日）に同館で開催される予定です。



「車に気をつけてください」と反射たすきをかける生徒ら

高齢者事故防止のため 高校生らが家庭を訪問

高齢者に事故防止を呼びかける「高齢者宅交通安全家庭訪問」は6月16日、寺田・中村地区の約40戸を対象に行われました。

家庭訪問は、葛巻町交通安全対策協議会（鈴木重男会長）が実施、葛巻高校の生活安全委員会の生徒や交通安全母の会、交通指導隊員など24人が参加しました。

生徒らは反射たすきやティッシュを高齢者に手渡ししながら、ゆっくり大きな声で「車には十分気をつけてください」と呼びかけました。大崎夏美さん（同校2年）は「みなさんお元気よかったです」と充実した表情を見せました。